

鳥取縣の道路愛護治水施設保全

團體表彰制度

三宅發造

道路の完否治水施設の良否が文化の普及産業の發達に極めて密接な關係を齎し、民力の消長國運の隆替に反映する點の甚大なのは謂ふ迄もないところである。從て之等の維持修繕を完全ならしむることは、一日も忽にする事は出来ない重要事である。吾が鳥取縣は財政が窮乏の極に達して居る爲充分なる維持修繕費を支出する事が至難の實情にあり、依て交通上之を遺憾ならしむるには唯縣費の支辨のみに頼らないで、直接其の道路、河川に利害關係を持つ市町村民の協力と援助とによるのが最も策の得たるものである。當局は此に鑑み、昭和七年四月二十二日道路愛護治水保全獎勵規程を設けたのであるが、其の後協議會、相談會

等を催し大に其の趣旨徹底に努めた結果、此の趣旨に共鳴する者漸次増加し、同年十一月末には縣下百八十四町村盡く參加申込を見たのである。而して此の總人員は八萬七千五百三十四人の多數に及び其の擔當延長は道路に在つては國道、府縣道、市町村道を通じて三千百九十六軒（八百四十里）餘、河川七百八十七軒（二百里）餘に達した。參加團體は戶主會、在郷軍人分會、青年團、婦人會、處女會、消防組等で、本會の趣旨を克く理解して大に活躍し、其の奉仕振は實に涙ぐましい位で、各處で好評噴々たるものがあつた。其他可憐な小學校兒童の作業等もあつて其の結果は道路の如き昔日の悌は漸次一掃さるるに至つた。

本年二月十一日縣廳會議式場に於て、第一回優良團體表彰式を舉行せられたが、其の最優秀團體には金二百圓と大優勝旗を授與したのである。此の優勝旗は各團體間の競争的愛護精神を喚起して益々其の奉仕の實を向上させるる目的で授與せられたのに外ならない。

本年二月十一日表彰式次、表彰團體及昭和七年作業實施狀況を略述すると次の通である。

式 次

- 一、開 式 の 辭
- 一、審査長審査報告
- 一、賞 状 授 與
- 一、知 事 告 辭
- 一、來 賓 祝 辭
- 一、受賞者總代答辭
- 一、閉 式 の 辭

餘興活動寫眞

昭和七年度道路愛護治水施設保全表彰團體

授賞團體名、壹等貳百圓八頭郡智頭町智頭町道路愛護治水施設保全會、貳等壹百圓西伯郡波村渡村道路愛護治水施設保全會、同八頭郡土師村土師村道路愛護治水保全會、同日野郡米澤村米澤村道路愛護會、同西伯郡大山村道路愛護會、同氣高郡神戸村道路愛護治水施設保全獎勵會、同日野郡福榮村福榮村道路愛護會、同八頭郡那岐村道路愛護治水施設保全會、參等五拾圓西伯郡和田村道路愛護會、同八頭郡散岐村散岐村道路愛護、治水施設保全會、同岩美郡小田村小田村道路愛護會、同浦富町浦富道路河川愛護會、同中ノ郷村中ノ郷道路愛護治水施設保全會、同成器村成器村道路愛護會、同八頭郡池田村池田村道路愛護治水施設保全會、同西伯郡大幡村大幡村道路愛護治水施設保全會、同氣高郡吉岡村吉岡村道路愛護會、同東伯郡旭村道路愛護治水施設保全會、同西伯郡尙德村尙德村道路愛護治水施設保全獎勵會、同東伯郡矢送村矢送村道路愛護治水施設保全會、同八頭郡八東村八東村道路愛護治水保全會、同八頭郡加茂村道路愛護治水施設保全會、同東伯郡安田村安田村道路愛護

會、同西伯郡餘子村餘子村道路愛護會、同岩美郡岩井町岩井町道路愛護治水施設保全會、同日野郡黒坂村黒坂村道路愛護治水施設保全會、

外 四等 三十圓 五十團體

五等 慰勞金 六十二團體

等外團體十二團體に對しては慰勞金として金一封を授與せられた。

昭和七年度道路愛護治水施設保全作業實施狀況

地名	町村數	參加申込團體數	作業實施團體數	作業日數	町村人口	團體會數	作業延時間	作業延人員	一人一日作業時間八時間換算人員
岩美郡	一	一	一	一	一	一	一	一	一
氣高郡	二七	二七	二〇	五七	四、五三	九、九六	一三、六九	一三、六九	七、七四
八頭郡	二九	三〇	三〇	二八	五、二六〇	九、九六	四二、八三	七、六三	五、三五
東伯郡	四	四	三	一	一、六〇	二、八〇	一七、六一	二、四五	二、四八
西伯郡	四	四	三	八	一、四二	三、〇五	三、一五	五、九四	四、八五
日野郡	一七	四	三	一七	一〇、一〇	四、一五	一三、五八	一七、〇一	一五、三五
計	一八二	一八二	一五〇	五九	四七、四三	一〇、二五	四四、五〇〇	五、五五	五、五三

昭和七年作業は規程發布後締切期間迄約八ヶ月間に於ける實績であるが、最初三ヶ月間餘は各團體共準備の爲殆ど

本縣では毎年二月十一日成績優良な團體を表彰するのであつて、十二月廿一日を以て其の年度内の作業成績を締切審査するのであるが、昭和七年には右成績等級を第一次審査及第二次審査の二回に分ち決定し、第一次審査は各郡市毎に第二次審査は各郡市を通じて行ひ其の審査の要項は道路愛護治水施設保全に關する公共心の厚薄作業の良否等を調査決定せられたのである。

作業實施を見なかつたので、實際の作業期間は五ヶ月間餘のものであると云つてよい。

今参考の爲昭和八年に於ける道路愛護治水施設保全獎勵作業狀況を擧げて見るならば、本年は其の成績實に優秀であつて、八月末現在既に別表に示す通り一人一日作業時間八時間換算人員十一萬八千九百八十人を算へ、如何に公共的精神の旺盛なるかわ如實に物語つてゐる。

昭和八年道路愛護治水施設保全獎勵作業狀況

(昭和八年八月末現在)

市郡名	市町村名	參加申込團體數	作業實施團體數	作業延時	一人一日作業時間	八時間換算人員
鳥取市	一	二	二	六、六二	七、六四	七、六四
米子市	一	一	一	一、二七	一、四、五	一、四、五
岩美郡	一	一	一	七、七、五	九、〇、九、五	九、〇、九、五
八頭郡	二元	三〇	三〇	二、六、七、〇、二	三、三、七、七、六	三、三、七、七、六
氣高郡	二七	二七	二七	七、四、九、四	九、〇、七、七、六	九、〇、七、七、六
東伯郡	四四	四四	四四	二、一、五、一、九、九、九	一、八、九、九、九	一、八、九、九、九
西伯郡	四四	四四	四四	二、九、五、一、四、四	三、六、八、三、〇	三、六、八、三、〇
日野郡	一七	一七	一七	七、八、二、三	一〇、三、〇、〇、三	一〇、三、〇、〇、三
計	一八三	一八三	一八三	一、七、九、五、一、八、四、六	二、八、九、〇、八	二、八、九、〇、八

次に本年八月中旬には澄宮殿下が山陰に御成り遊ばされたので、道路愛護團體並小學校は擧て道路作業に奉仕し其

の成績見るべきものがあつた、縣當局に於ては右の中成績最も優秀なものに對し、臨時表彰として褒狀並壁掛鏡一面宛を贈與し、宮殿下の御成を永久に記念せしむることとなつた。因に今回其表彰團體の中で、社會風教上典型と謂ふも過言でない悼ましき暨しい行爲があつた。それは西伯郡所子村道路愛護會員である。中西八百君(三十三歳)は殿下御成の數日前の午前七時から御成道路同村地内の府縣道大山口停車場所子線の愛護作業に精勵してゐたところ、祖母タルの死亡の報に接したが、本人は一向作業を中止しないで餘念なく致々として働き、作業終了後始めて團體長に其の旨を告げ歸宅したのである。飽迄誠意を以て奉仕したのは、實に近來稀な美事で之が社會に投げかけたる波紋は、實に甚大であつて、其の餘波は到る所に感動を與へてゐる。

x

x

x

x